

建築設計演習 A (Architectural Design Studio A)

担当教員名	水島 あかね、工藤 和美、小林 直紀	
学科・専攻、科目詳細	建築学科 4年 前期 2単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	基礎工学科目 設計・システム系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-2(55%) E-1(10%) F-1(35%)
	JABEE基準1(1)	(d)(e)(f)
科目の概要	本科目では、これまで学んできた設計の基礎的事項をさらに発展させ、複雑に絡み合った様々な条件のもとでの空間設計能力を身につけることを目的とする。具体的には1)地域に密着した小学校の設計と2)全国高専デザインコンペティションを課題とする。	
テキスト(参考文献)	テキスト：日本建築学会編：コンパクト建築設計資料集成,丸善,2005 その他、演習課題の内容に応じた資料を適宜配布する	
履修上の注意	日常から建築分野に関わる多様な情報に対する関心を高め、建築物の現地見学を自主的に実践し、独創的な発想を育成するとともに、建築設計に有効な手法や態度を学びとること	
科目の達成目標	1)情報収集、構想計画、基本計画、基本設計の一連の流れを踏まえて、複雑な与条件の課題に応じて形にする能力を身につける 2)CADやスケッチアップなど様々なソフトを活用して、提案内容を図面、スケッチ、パース、ダイアグラム、言葉などを用いて分かりやすくプレゼンボードに表現する能力を習得する 3)プレゼンボードを用いて提案内容を伝え、質疑意見に対して討論できる能力を身につける	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外に次の自己学習が必要である。 1)課題内容を理解し、スケジュールを立て、設計のプロセスを自主的に進めること 2)対象敷地に足を運び一次情報を入手すること。また関連施設の情報収集につとめること 3)表現に必要なアプリケーションソフトの操作能力を高めること	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	各課題の達成目標は、 1)一連の設計過程で提出されるレポートやエスキス図面(40%) 2)最終提出成果物(50%) 3)エスキスや設計課題作品についての発表、講評会で評価する(10%) でそれぞれ評価し、第1課題を60%、第2課題を40%として、総合評価が60%以上に達したものを合格とする。	
連絡先	akane@akashi.ac.jp, kkudoh@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 オリエンテーション	本授業の進め方と課題の意義や内容に関する説明・学校建築に関するレクチャー
第2週 第1課題「小学校の設計」-情報収集	対象敷地の見学を行い、見学レポートを作製する
第3週 第1課題「小学校の設計」- 構想計画	計画条件を整理し、全体構想を練る
第4週 第4週 第1課題「小学校の設計」-基本計画I	対象敷地周辺の環境や景観との関連を踏まえた配置計画を行う
第5週 第5週 第1課題「小学校の設計」-基本計画II	主要平面図・立面図など計画全体がわかる図面を作製する
第6週 第6週 第1課題「小学校の設計」-基本設計I	細部の検討を進め、図面化する
第7週 第7週 第1課題「小学校の設計」-基本設計II	CADを用いて図面を作製する
第8週 第8週 第1課題「小学校の設計」-最終設計I	CADを用いて図面を作製し、プレゼンボードを完成させる
第9週 第9週 第1課題「小学校の設計」-最終設計II	CADを用いて図面を作製し、プレゼンボードを完成させる
第10週 第10週 第1課題「小学校の設計」-講評会	完成した作品についての説明し、講評を受ける
第11週 第11週 第1課題「小学校の設計」のプラスアップ&第2課題の説明	講評会により明らかになった課題を修正し、プレゼンボードの完成度を高める 競技設計課題の内容を読み解き、資料や情報を図書資料やインターネットにより入手する
第12週 第12週 第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」-草案の作製	具体的な草案を作製する
第13週 第13週 第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」-図面の作製	グループごとにエスキスチェックを行う。CADを用いた図面作製作業に着手する
第14週 第14週 第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」-図面の作製	エスキスチェックを踏まえ、プレゼンボードの作製を行う
第15週 第15週 第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」-講評会	講評会により課題を明らかにする。学内選考に応募に備え、改善する
期末試験実施せず	